

香川県プランクトン情報（第41報）

令和3年9月16日発行

9月16日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】（調査事業名：貝毒プランクトン調査）

- ・貝毒の原因となる有毒プランクトン、アレキサンドリウム属が低密度ながら確認されました。
最高細胞密度は0.05細胞/mL(定点 KA1、KA3)です。
- ・魚毒性を示す有害プランクトン、カレニア ミキモイが確認されました。
最高細胞密度は23.5細胞/mL(定点 KA1)です。
- ・珪藻類は、主にコシノディスカス ワイレシーが全調査点で確認されました。
最高細胞密度は3.55細胞/mL(定点T3)です。
- ・播磨灘沖合の表層水温は約25~26℃、表層塩分は約30~31の範囲で推移しています。

表：2021年9月16日 プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	旧アレキサン ドリウム・タマ レンセ	旧アレキサン ドリウム・カテ ネラ	アレキサン ドリウム属	シャットネラ・ オパータ	カレニア・ ミキモイ	ココロディニウム・ ポリクリコイデス	コシノディスカス・ ワイレシー	ユーカンピア・ ゾディアクス
KA1	0	0	0	0.05	0	0	0	2.20	0
	10	0	0	0	0	23.50	0	1.20	0
KA2	0	0	0	0	0.05	7.50	0	0.85	0
	10	0	0	0	0.05	1.40	0	1.90	0
KA3	0	0	0	0.05	0	0	0	1.80	0
	10	0	0	0	0	0	0	2.00	0
KA4	0	0	0	0	0	0	0	0.15	0
	10	0	0	0	0	0	0	0.20	0
KA5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0.45	0
KA6	0	0	0	0	0	0	0	0.10	0
	10	0	0	0	0	0	0	0.30	0
KA7	0	0	0	0	0	0	0	0.35	0
	10	0	0	0	0	0	0	0.45	0
K1	0	0	0	0	0	0	0	3.00	0
	10	0	0	0	0	0	0	2.40	0
K2	0	0	0	0	0	0	0	1.85	0
	10	0	0	0	0	0	0	1.80	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	0.65	0
	10	0	0	0	0	0	0	0.30	0
T3	0	0	0	0	0.70	0	0	1.85	0
	10	0	0	0	0	0	0	3.55	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0	0	0.95	0
	10	0	0	0	0	0	0	1.75	0

* 試水は200mLを10mLに濃縮して、そのうち1mL中のプランクトンを計数しています(20倍濃縮)。

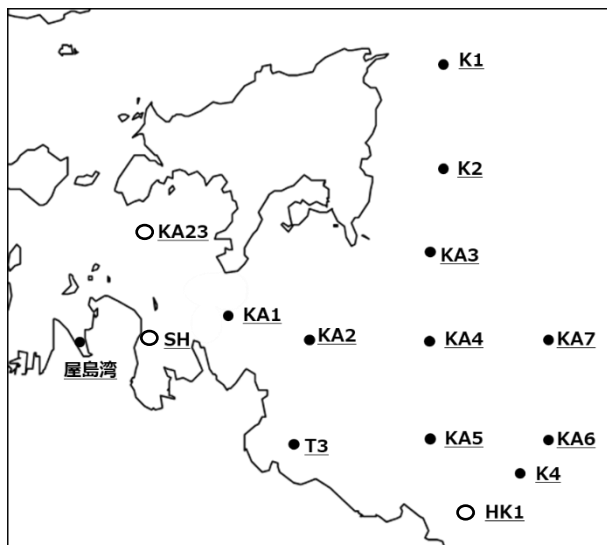
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:藤田・和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：貝毒プランクトン調査）



* 貝毒プランクトン調査は合計 12 定点(KA1～7、K1、2、4、T3、屋島湾)で行っています。

【参考】表：香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL